



### 3. 活動内容

#### (1) 人権・福祉教育

【第1学年】「障害者や高齢者に優しい社会を実現しよう」  
(総合的な学習の時間) <9~12月>

・「福祉実践教室」で、障害のある方を招いて話を聞き、障害のある方の気持ちや援助の仕方を理解した。また、車いすの体験、点字、高齢者疑似体験等も行った。社会福祉に対して、自らの問題としてとらえる良い機会となった。

【第2学年】「幼児の生活と家族」(技術・家庭科)  
<9月~12月>

・幼児の心身の発達と生活について学び、家族とのかかわりの重要性について考えながら、保育園で幼児と接することで、幼児期の特徴やかかわり方について学んだ。生徒たちは、幼児と楽しく過ごす中で、幼児の立場や思いを受け止めて行動することの難しさを感じ取っていた。

【全学年】

・町民運動会、敬老会、公民館祭りなどの地域行事へのボランティアに多くの生徒が積極的に参加し、地域社会の一員として貢献した。地域の方の温かい声かけもあり、ボランティア活動を通して、他人のため、地域のために活動できたことに喜びを感じていた。また、12月には人権教育講演会を開催した。人権に関する様々な課題について講演を聞き、人権についての関心を高めていた。

#### (2) キャリア教育

【第1学年】「夢の実現に向けて」(総合的な学習の時間) <1~3月>

・身近な人の働く姿や職業について調べ、レポートにまとめながら、将来の自分のことを真剣に考えていた。

【第2学年】「職場体験」(総合的な学習の時間) <6~2月>

・国語や学級活動の関連内容と結びつけながら、職業や上級学校について調べた後、8月に職場体験を行った。生徒たちは、実際に地域の事業所で職場体験を行うことで、働くことの意義を体感していた。また、10月にはキャリア週間を設定し、「おやじの仕事語る会」でおやじの会の方から様々な職業の話聞いた。身近な人の生の声を聞くことで働くことの喜びや責任などについて学ぶ良い機会となった。

#### (3) 環境教育

【全学年】「資源回収活動」(総合的な学習の時間) <7月, 11月>

・地域住民とともに資源回収活動を行う中で、正しく分別することなど資源として出す際の注意事項について学んだ。また、積極的に地域の人々と関わり、地域に貢献することの大切さに気づく機会となった。

【委員会活動】<全期間>

・生活委員会、緑化委員会が節電・節水を呼びかけた。美化委員会は、教室のごみを分別できるように、ごみ箱、新聞回収ボックスを設置し分別回収を呼びかけた。給食委員会が、残菜チェックを行い、食に関心を高める呼びかけを行った。生徒一人一人が環境問題へ目を向けるきっかけとなった。



第1学年「福祉実践教室」



全学年「敬老会ボランティア」



第2学年「おやじの仕事語る会」



全学年「資源回収活動」

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）